広報 長洲

発行者　長洲公民
発行人　田尻
編集人　中逸
印刷所　玉名新聞

建設計画実現の年

長洲町長　寺田喜次郎

長洲町の皆さん、ここに昭和三十五年の新春を迎えまして、お目出度うございます。

特に当三十四年度においては、社会体育優良公民館として、又青少年スポーツ振興の指定町として、文部大臣からの表彰、並びに、腹赤愛育班も優良班として、厚生大臣から全国表彰を受けました事は、誠に本町の光栄これに過ぎるものはなく、喜びに堪えないところであります。これに就きましては、全町民各位の協力は勿論、町会議員、駐在員の諸員を始め、各種団体の御協力と、御支援の賜物と、深く感謝するところでありまして尚本年も一層の御協力をお願い致したいのであります。

新しい大長洲町が誕生して、この折角出来上つた合併大長洲町でありますからには、伸びゆく長洲町、平和明朗なる長洲町等々、町民福祉増進の為に、多種多様の計画施設の実現を希い願う事は、申す迄もありません。これが為には、いかなる事業を出来得る限り速かに推進する事が、もつとも肝要であるかを、検討調査し、しかして後、その実現に向つて、お互に一致協力して、ゆかなければならない事であろうと考えられます。

そこで本町においては、年次計画を樹立し、合併後第一年度において、準備調査をなし、これに基き、建設計画を決定し、第

今が第二年度になつて居り既に着手致しているものでは、上水道事業が、昨年十二月二十四日に、起工式を挙げ、本年末迄には、各戸給水が出来るように、進めたいと思つて居ります。

腹赤保育園は、昨春四月一日から開園が出来、同地小学校の改築も半部ではありますが、昨年十二月二十五日、落成式を挙げるに至り、残部は本年中に完成する予定になつています。

清里小学校の移転改築も未着手ではありますが、三十五年度中

産業方面においては、既にブルドーザー一台を購入致しましたが、これをもつて、各地区の改田耕地整理やら、赤田方面における、山林開墾を始めとし、その他、道路の拡張新設等にも役立たせたいのであり、新堤を経て、腹赤を通ずる県道も、三十四年度中に、道幅の拡張工事が進められる事になつているのでこの方面への交通機関も一層安全性を増大するであろうと、期待されます。

長洲町公民館は、各種の会合講習会等に、利用されていますが、町会議場という、町にとり最も重要な会場も、不完全乍らも、ここに使用されてる状態であるので、出町の旧変電所建物の資材を大部利用して、現公民館を改造する資材に向けたいとの案もありますが、現在においては、未だ確定の段階迄には、至つていません、本計画に就いては、将来を考慮に入れ根本的改造の事も、考えられますけれども、現在の町財政が許さない事が、遺憾とするところであります。

菜切浦川工事中、浦川の改修は今日下流から鉄橋迄完了していますが、今後の開田計画と相俟つて、施行されなければならない面もありますので、地元耕作者との十分なる理解のもとに、着手すべきであり、現状としては、さしあたり、菜切川の工事から進められる事になり、三十四年会計年度において、下流の工事が着手され、現在、用地買収もほとんど完了し、行末川の改修も、同様本年度において、着工の運びに至り、目下用地買収もほとんど完了している現況であります。

この河川改修に就いては、相当巨額の事業費であります関係上県としても、地元としても早急なる全面同時改修という事は、財政的困難がともないますので思うにもまかせない事を遺憾とするところであります。

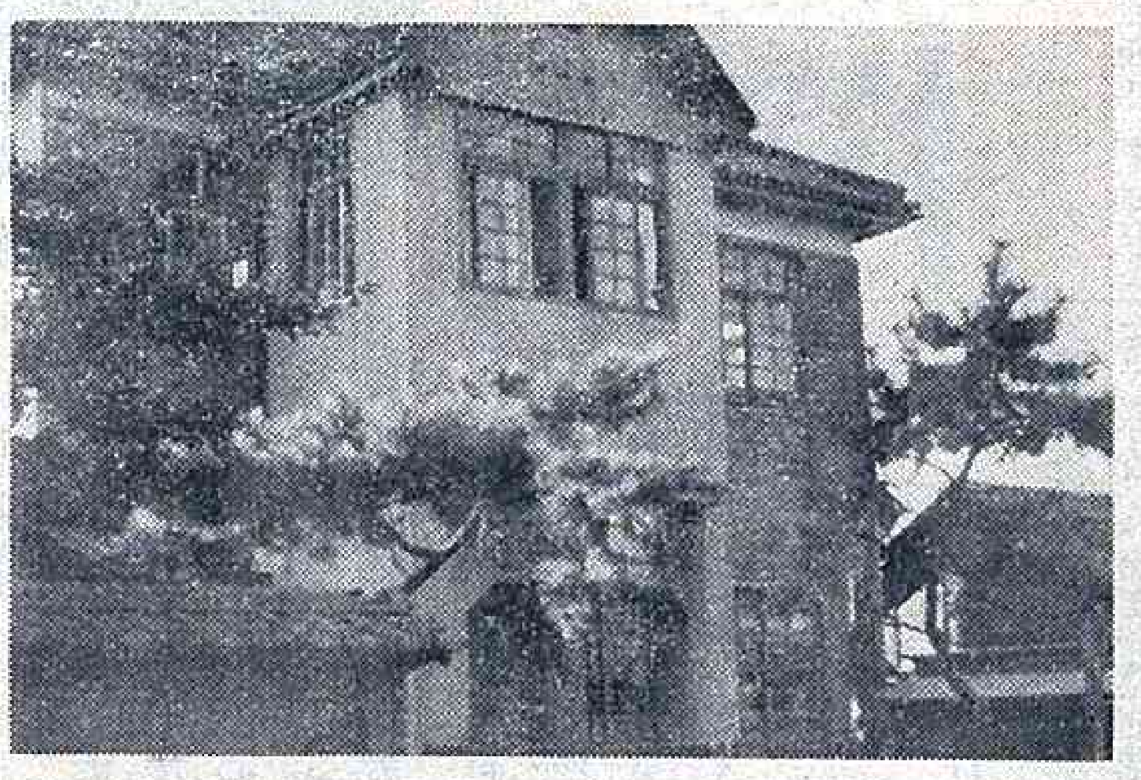
本年度において特に町民諸君の御協力をお願い致したい事は、第十五回全国民体育大会が我が熊本県において開催される事であります。本大会には、全国から数万の 体育選手達が 本県に集るに伴い、従つて、数十百万の観覧者も、本県[illegible]よせる事も覚悟せね[illegible]んが、各運動種別毎に、県内主要地区内に、分散開催され、本郡市においても、玉名、荒尾両市に会場が設けられますので、旅宿が当長洲町迄伸されそうであります。本県においては勿論、我が長洲町においても、各県人の認識を深める上においては、絶好のチャンスと申さねばなりません。世に第一印象と言う事が言われています通り、初めての観察印象が先入主となり、この観念は、なかなか消えない事は、皆様経験の通りであります。

長洲町民は親切であり、町内は美しく、買物は安価である事になれば、尚又、蚊がいない、ハエがいないと言う事になれば、誰もがこの事を宣伝してくれる事になるでありましょう。

今日迄、航送船の利用が、一般乗客を、取り扱つていませんけれども、関係両県においては、大いに、実現に陳情努力中でありますので、早晩実現さるべきものであると思います時、この国体を機会とし、外来客の接遇には、大いに留意すべき事ではありますまいか。

本町建設事業に就いては、干潟面の利用、漁業の振興、特産金魚の紹介宣伝、等々、数多く、残されたる問題が、山積している状態でありますが、此等重要なる問題等も、一時的には、なしとげ難く、今後年次的計画に基き、着々実現に向つて、邁進すべきであると思いますが、町民諸君の十分なる理解と協力に俟たねばならない事は申す迄もなく、どうぞ町発展、伸張の為一層の御指導、御鞭撻をお願い致しまして、新年の御挨拶にかえたいと思います。

☆　あけまして
おめでとうございます



1960年

新年に当りて

明けまして御目出度う御座います。

公民館の活動も皆様の御協力によりまして順調な進展を続ける事が出来ました。厚く御礼申し上げます。

私供は毎年、年頭には本年は平和と繁栄の年である。と云う事を念願もし、口でもとなえている事でありますが、本年は其の念願が、空念仏ではなしに、ほんとうに実現するのではないか、と期待する事が出来そうです。

大ざつぱに云つても、それを肯定する諸条件がそなわつている様です。

海の外も内も経済的に見て、大きな破たんを来たす様な徴候はありませんし、又心理的にも平和への願望は世界の人々のあいだに強いし、各国の首脳者は平和の基礎を作るのに熱心であります。こんな諸種の情勢が乱されないで、育成されて行くならば世界平和への着実な道は一層明るく開けて行くのではないかと思われます。

長洲町に於ては三十五年は建設計画の実施第二年目の年です立案せられた諸計画が着々と実現せられた活発な新町建設の息吹が見られる事でありましよう。

町の景気も世に云う、岩戸景気とまでは行かなくても、年末売出の成績等を聞きましても、上昇致していますし、又明るい町造りの一端である、犯罪のない町としての成績も荒尾警察署の調査によりますと、昨年とくらべて上半期は長洲町は減少しております。町の表情も明るい様で本年の見通しは上々ではないかと思われます。

公民館に於きましても町の建設計画に即応して各方面の諸計画も立案し実施したいと思つて居りますが、まず昨年指定を受けました青少年スポーツの振興の仕上げの年でありますし、尚全国表彰を受けました社会体育も拡充強化の年であり、国体に附随した各種の行事実施の年でもあります。特に青年学級については折角開講致しましたので本年は一そう力を入れて充実を計りたいと思つて居ります。

社会教育、社会体育の中心母体としての子供会の発展、婦人会の振興の年でもあるし各方面にやらねばならない、仕事が山積致しております。公民館の組織計画等にも検討し考慮致しまして新味のある企画を致しまして、一生懸命皆様の御期待にそう様に努力致す所存で御座いますが、これも町民の皆様の御協力なしには完遂する事は、出来ないので御座いますから、昨年同様大方の御協力を御願い申しまして年頭の御挨拶と致します

（田尻公民館長）

議員さんを巡る⑨

ベルトの役目で町の繁栄を

長洲町議会議員　宮路利行

昭和三十五年の年頭に当り議会生活三年目の抱負を述べたいと思います。

過去二年間は経済委員長として微力ながらも町経済の発展に努力し、町民各位の御協力を得て若干の成果とその実績を相共に喜んでおります

後半の残された二年間は文教厚生委員長として委員各位の御協力で最善をつくしたい処存であります。

御承知と思いますが当初予算の町財政総額は五千百余万円で経常費と義務費を差引き実際に事業投資金はわづかその一%の五百万円、これを町建設事業に充当するのですから、予算規模に

ます。従つて有効適切に成果をあげねばツメアトだけになる訳で集中効力をネライとして審議に当つてきました。

本年は新長洲町振興計画第二年度に入りますが、第一に昨年末第一期工事が完了致しました腹赤小学校の第二期工事の着工と清里小学校の建築が着工の運びとなつております。

人間完成の基礎教育の場である学校の整備は最優先が当然であり、またその内容としての豊富な教材の完備で教育の円滑化こそ町民ひとしく望む処であります。

第二は保健、衛生と人間生活に

急がねばなりません

ゼーナキや潮水のウラゴシである長洲町の井戸は水質検査は不合格であり、県でもマークしていた処であります、このような実状は速に上水道にかわらねばいけないのですから上水道設置は急務であります。

それで当局及水道委員会の努力によりまして本年速ければ十月おそくとも年末までには、皆さんの台所に送水したい計画で促進されています。尚旧腹赤の沖の洲には簡易水道が設置される計画で一応良質の飲料水は解決すると同時に火災発生時の消火用水も豊富となり一石二鳥とも

第三に農地改良工事です

旧長洲町六〇町歩、旧腹赤四〇町歩の耕地整理と旧六栄の六〇町歩の開墾と暗渠工事が予定されております。

菊池郡合志村及甲佐町乙女の改良工事は県下でもモデルと言える様に偉大な成果をあげ、増産と労力節減は農家経営の安定度をたかめております。

主食増産　果樹増植は緊急であり町としても、そのために国庫補助を併せてブルトザー（中型）を購入決定しております。

然して実現までには農家各位の惜しみなき協力と理解が特に必要かと思います。

第四に水産商工業の発展でありますが、割当スペースの関係

として特に長[illegible]況は斜陽傾向[illegible]かと思考され[illegible]それで他の生[illegible]的向上が望ま[illegible]いでしょうか。[illegible]育、そのための設備も計画にあるのですから早急に業者自ら検討を始むべきと思います。

旧長洲町に於ける漁業についても再検討の転機にあるのではないかと思います。

以上を要約しますと町民一人一人の所得をふやす事それが町の発展になると信じております所得をどうしたらふやせるかそのために町はどうすればよいか町政と町民の相互扶助が意志の交流と共に必要でありま議員はそのベルトでありたいと思います

（文教厚生委員長）

（次回は福本議員の予定）

駅伝大会の成績

長洲町第一青年団では一月十日、成人祭祝賀駅伝大会を行なつた、成績は左の通り。

順位	町名	所要時間
一等	梅田	五二分一二
二等	中町	五三分二八
三等	大明神A	五四分四四
四等	上本町	五七分一二
五等	大明神B	六〇分一三
六等	下松原町	六四分

▲区間賞

区別	氏名	町名	タイム
一区	東	（梅田）	五分三六
二区	大塩	（大明神）	六分三五
三区	村井	（梅田）	十四分一二
四区	磯野	（中町）	五分二三
五区	新谷	（中町）	六分三九
六区	長尾	（本町）	十二分四〇

運営審議の委員委嘱

去る十二月二十六日任期満了となつた運営審議会委員を教育委員会が新らしく、左の十五氏に委嘱された。

小沢志津馬（腹小校長）
斉藤　貞雄（長中校長）
宮路　利行（町議文厚委員長）
浦島　表（婦人会代表）
松下　秀子（婦人会代表）
藤本　サダ（婦人会代表）
長谷川　久（青年団代表）
前田　仁美（青年団代表）
高野　伝（学識経験者）
浦島　哲夫（〃）
徳永　暢材（〃）
守屋　勲（〃）
作本　好司（〃）
嶋田　新一（〃）
大川　喜明（〃）

消防団新陣容なる

団長　内野喜次郎
副団長　橋口　久男
〃　竹下　武幸
〃　山口　正一
本部長　吉田　貞光
消防主任　中尾　義雄
第一分団長　黒崎　浩
副分団長　猪本　義晴
部長　前田　彰
吉村　一成
中坂　寛

班長　浜口　直
起汐　松男
稲田　強
第二分団長　野田　賢一
副分団長　真東　親
部長　黒崎　日吉
浦野　高明
宮本　嵩
班長　市原　一雄
磯川　洋二

（二面へ続く）

行末川改修工事の着工

菜切川も三十四年度工事昨冬から着工

長洲町と隣村岱明との間を流るゝ行末川改修工事が本年度から着工されることになりその起工式が昨冬十二月十六日河瀬玉名県事務所長、岩本土木事務所長外両町村関係者多数列席のもとに挙行せられましたこの行末川は川の中央が長洲町と岱明村との境界にして交互に入り作出作あり岱明村とは何かにつけて密接な関係にある川であります。

どこの川も大同小異で川底は浅くなり湾曲が多く、川巾にしても毎年の出水時の雨量から考えましても、大改修をせねば農地農作物の保全は望めないのであることは謂ふまでもないことであります。

この観点から岱明村と相諮り一昨年改修期成会が結成せられ、各方面には御協力を懇請致し関係官庁には、陳情を重ねられた結果本年度県内、二カ所が改修河川として本省において、認定せられその一カ所がこの行末川であります。

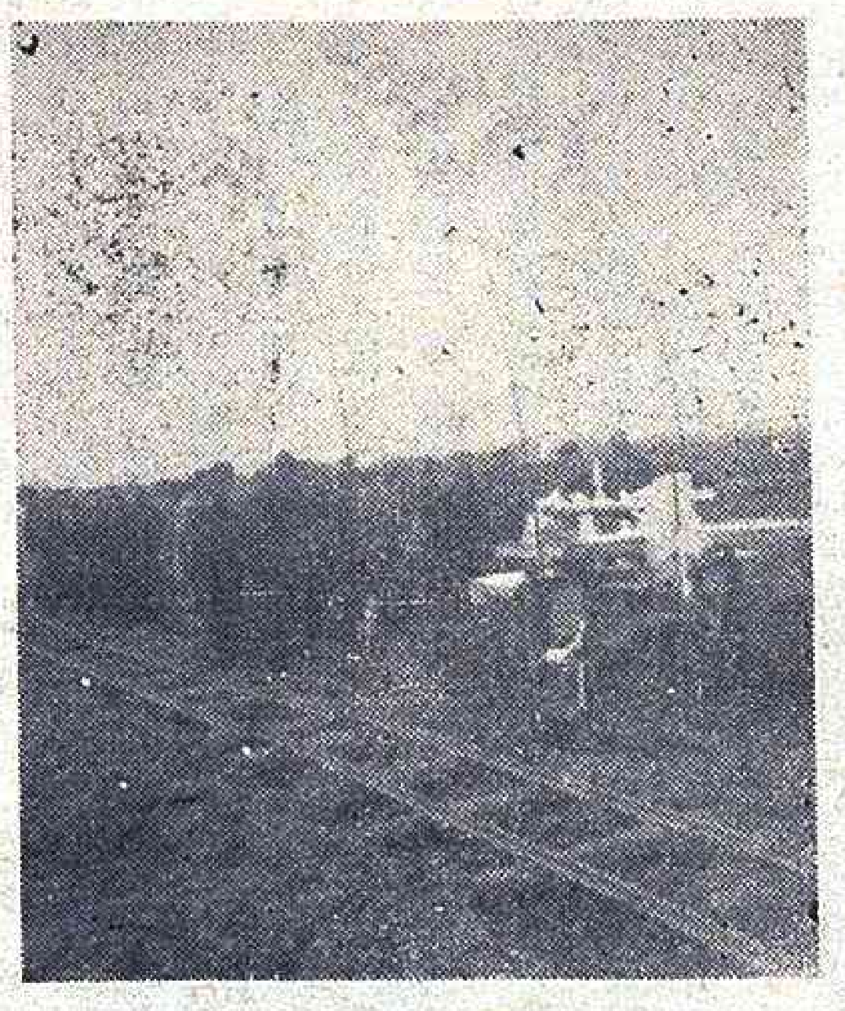
何れの事業に致しましても、工事が進むか足踏みするかは申上げるまでもなく関係者の御協力の如何によるものでありまして初年度工事について関係地主の方々へ感謝とお礼を申上げて置きたいことは、改修目的をよく御理解していただき祖先伝来の土地を、又少い耕地を手放して御協力下さつたことで御座います。

次に菜切浦川改修工事は昭和二十七年から着手家屋等の補償にとりかゝり、本工事は昭和二十九年嘉永川瀬止め樋門改修工事に始まり、一応出町鉄道橋まで改修を終りその上流を残して工事は菜切川に移り、菜切橋上流を局部的に改修をなし本年度は大蛇橋下流左岸を只今工事中であります。

この改修についても地主の方々は、行末川の方と同様御協力下さつたことをお知らせ致して、感謝とお礼を申上げておく次第で御座います。

以上お知らせしましたが両河川共に目的達成までには、今後数年かゝると思われます。各位の旧倍の御協力を念願して止みません。

経済土木課長　豊福芳人



写真は　行末川改修工事の起工式

これからの家庭教育

教育長　長嶺朝良

家族そろつて、元旦の屠蘇くみは毎年のことながら、気分が一新する。子供は一日一日と申びていくが、この屠蘇くみによつて、不思議に子供の成長がはつきり目にうつる。うつるにつれ家庭教育がよみがえる。反省させられる。これからの家庭教育は如何にあるべきか。

これについて思いづるのは、道徳教育指定校の長洲中学校の研究調査資料。この資料の中に子供は訴えている。

長洲中学調査資料の一部

設問			男	女	計
①家でおちついて勉強が	イ	出来る	137	121	258
	ロ	出来ない	123	144	267
		計	260	265	525
②私の自由について	イ	干渉しすぎる	69	39	108
	ロ	かまつてくれない	22	17	39
		計	91	56	147
③父や母にいえないなやみ	イ	持つている	34	25	59
	ロ	持つていない	165	192	357
		計	199	217	416
④私の家には次のことが多い	イ	悪口	27	16	43
	ロ	けんか	55	53	108
	ハ	下品な話	16	9	25
	ニ	だらしがない	16	9	25
		計	114	87	201

全生徒を通じ調査

この調査集計の中から主な問題を拾つて見よう。

◇家庭で落ちついて勉強が、

出来ない（二六七）

出来る（二五八）

この問題は子供の勉強に対する家庭の理解という点が考えさせられる。

◇干渉しすぎる（一〇八）

もう自分にめざめる年令であるからガミガミの干渉はやめて、話し合いということが考えさせられる。

◇けんか

お父さん、お母さん、けんかはしないで下さいと訴える子供の心をくんで、家庭内がすさまないように、なごやかな家庭生活という点が考えさせられる。

これらの問題はあえて長洲町ばかりではない。他の資料を見ても、どつちも同様な形相。この形相を見て親が子供の教育に関心がないとは、私は思つていない。むしろ大いに関心はあるが、なぜ実際問題として子供の育て方に、多くの問題が生じているか。これが問題だ。

稲つくり　麦つくり

農業を営んでいる人達が稲や麦を作り、季節に野菜を栽培している姿を見ていると、全く真剣な態度に頭が下る。

種をまく以前から整地をし、よく基肥を施し季節を誤らないで着手する。こうして秋の実のりをよろこびを祈り尽せるだけ尽して期待している。

人の子の不作

農作と人作りを比べることはあまりにもへだたりが大きいが家庭で子供を育てている有様はこれだけの研究とこれだけの工夫がされてきたか、どうか、私自身私を疑いたくなることが多い。

人の子の不作は、ひとたび何か禍に陥入つた場合、どんな結果に終るだろうか、身の毛がよだつ。

取り返しのできない人間教育の場合に、もつと愛をもつて、真実をもつて今の子供に注意を払わねばと私は念願する。

お父さん、お母さんよ

〃子を思う以上の愛はない〃

その胸にどうぞ今一度手をおいて考えて下さい。愛情は思いだけではない。祈りだけでは足りない。凡ての物の成長は、稲作り、麦作りの研究と工夫と同じように家庭教育も、教育の仕方の研究と工夫とが自分の子供をすくすく伸ばす唯一の基盤であると思う。もちろんこれには技巧を弄することも無用、へつらいも無用。基盤の底には親の真情がこんこんと流れているではないか、それが尊いのだ。

この尊い愛情は賢明なる親にあつては、決して盲目的愛情に流れもしないし、溺れもしない。とかく子供の家庭教育はいとも易いようで、なかなかむつかしい。

われわれ人の子の親は、このむつかしさに打ち勝つ勇気と、知えを日に日に進みつつある日新の時勢から要請されている。

くり返していう。親の愛情の下に子供の人間性を尊重し家庭教育の仕方の研究と工夫こそ大事であることを。そして親の爆発的感情が禁物であることを。

これが元旦の朝ひとときの私の偶感である。

□　□

成人者の門出を祝福しましょう

栄れの門出を祝福して、公民館では成人式の式典を、例年通り一月十五日挙行致します。

本年成人となる若人は昭和十四年四月二日から昭和十五年四月一日迄の間に生れた、二五九名（男一一六名、女一四三名）の多数の人達です。

当日は町長より成人証書、公民館より記念品の贈呈、来賓より祝辞がなされ、意義ある祭日となる様計画致しております。又各家庭に於ても全戸国旗を掲揚し心からお祝の意を表して頂きたいと思います。

十五日より成人となる若人は愈々公民としての権利と義務を得られ、今後郷土長洲発展のため、さらに自覚を強め立派な社会人としての責務を果されん事を期待致しますと共に、一般社会に於ても全町民挙げて、前途を祝福し、温い気持で励まし又見守つて頂く様強く要望致す次第であります。

□　□

新年俳句

▼初句会入選句（新年雑詠）

取りとめし我が田に立てば初日出　寒苦鳥

獅子舞はうとまれし町の汽車待てる　紅泉

初風呂や土くれの如き手なりけり　寒苦鳥

元旦や鶏にも米のひとにぎり　羽田野

新春の空飛行雲かけわたる　菅尾

一男の母になつたと初便り　菅尾

初鶏や去年を駈けきし単車かな　紅泉

この手足乏しきに耐え年新　一文字

初詣でガイドの声もさわやかに　中島

沖遠く航送船の初日影　小川

初荷ず[illegible]人のさんざめき　六空

追い羽子やマンボズボンの娘もはしやぎ　永浦

たこの糸切れたるまゝに隣村　長谷川

的競ふ裸像でゆれし人の波　福村

爪と月なおしばらくを並びいん　木村

×　×

×　×

たばこ消費税について

たばこ消費税は御承知のように小売定価を課税標準として日本販売公社に課税するのであつてその税率は百分の十一であります。

そこで皆様が各小売店から買われます、たばこの価格に応じ、それ〴〵小売店所在の市町村役場に日本販売公社より翌月の二十五日までに、町税として納入さるゝ仕組になつております。

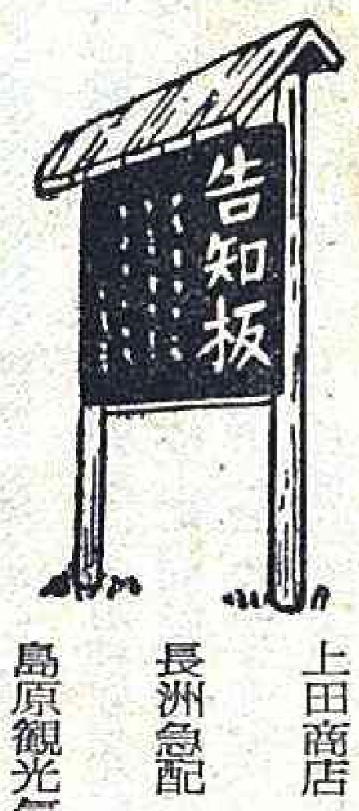
この様に一寸した皆様の心がけが、換いては郷土の財源を確保する所以であります。

御参考までに二、三のたばこを対象に納税額を掲げましたので今後尚一層の御協力を頂く意味において、たばこの購入は是非共、町内のたばこ小売店で御願い致します。

記

品目	定価	税金
ピース	四十円	四円四十銭
いこい	五十円	五円五十銭
光	三十円	三円三十銭

以上



十四、十五号台風罹災者に対する見舞金二個所へ発送

全町駐在員（集）	六三、三五〇円
折地仏教婦人会	三、〇〇〇円
長洲校区婦人会	衣類三個
腹赤校区　〃	二、〇〇〇円

昭和三十四年度共同募金実績の御知らせ

▽一般の部

長洲校区婦人会	一八、〇〇〇円
腹赤校区婦人会	六、二一〇円
六栄校区婦人会	五、一五〇円

△法人の部

栗原材木店	栗原謙蔵	一、〇〇〇円
みすみや	三隅　格	一、〇〇〇円
松川商会	中川宇一	一、〇〇〇円
松本商店	松本林蔵	一、〇〇〇円
辰己屋	井上一馬	一、〇〇〇円
魚市場	松本林蔵	一、〇〇〇円
銀洋	福田康止	五〇〇円
上田商店	上田ハマ子	五〇〇円
長洲急配	福浦　保	五〇〇円
島原観光気船長洲支店		五〇〇円

昭和三十四年歳末助け合い運動による実績及び配分

△拠出金品

全町婦人会　四一、九三〇円

米　一俵　三斗四升

金　三四、五三〇円

長洲町菓子組合　一、〇〇〇円

彦根市　西原正則　五、〇〇〇円

辰己屋　井上一馬　毛布　五〇枚

外衣類十四点

米村菓子店米村龍蔵菓子二箱

長洲町社会福祉協議会六八七〇

玉名郡福祉事務所　衣類十六点

△配分

長洲町在住者一七九世帯へ

生活保護世帯　一三二世帯

三九四人

要保護世帯　四七世帯

二二七人

（一面の続き）

川田　貞夫

第三分団長　本山　照弘

副分団長　浜田　哲彦

部長　湯村　憲善　清田　諭　池上　勲

班長　宮野　五男　高谷　隆男　織田　栄一

第四分団長　本山　良則

副分団長　大関　殿

部長　千代原　豊記　高松　貞善　平川　平次

班長　徳永　一則　磯川　増雄　浜水　正夫

第五分団長　小俵　昇

副分団長　坂井　正

部長　藤本　隆　西山　義正　元村　正市

班長　伊藤　寅男　土山　宇土男　土山　重人

第六分団長　磯辺　昭和

副分団長　浜田　千鶴

部長　松岡　憲一　池上　学　田成　正信

班長　松岡　正明　浜田　光　本田　英雄

第七分団長　中村　良兵衛

副分団長　上田　義信

部長　杉本　正　田畑　寛　清本　深

班長　宮本　俊明　浜岡　伸一　松野　誠治

第八分団長　田上　正美

副分団長　村上　一義

部長　松野　春正　福本　信行　竹本　好秋

班長　前畑　豊志　宮本　千代喜　福本　義国

第九分団長　浜島　昇

副分団長　山村　次吉

部長　吉田　俊夫　島田　喜吉　竹内　算

班長　松野　八郎　島田　正義　中川　作馬　石本　勝男

第十分団長　藤末　親司

副分団長　西尾　募

部長　徳永　幸雄　森本　克己　森本　秋生

班長　池上　文男　池本　後光　池本　千生

第十一分団長　田川　敏

副分団長　宮本　敏夫

部長　松本　久清　宮本　幸人　吉田　正夫

班長　山崎　三年　池上　良光　田添　選志

第十二分団長　平木　満真

副分団長　田上　賢士

部長　松尾　七郎　山口　嘉之　中村　照彦

班長　松岡　学　丸山　一二　松尾　林

第十三分団長　坂本　正士

副分団長　坂上　吉光

部長　山崎　大助　前田　円　坂本　勝

班長　森山　広喜　馬場　成富　城戸　健一

第十四分団長　中島　正義

副分団長　西本　伸行

部長　福田　強　城戸　民雄　中村　照男

班長　宮崎　勝喜　小林　良輝　城戸　浩哉

第十五分団長　木原　隆

副分団長　上田　照二

部長　村岡　剛　木戸　輝行　西山　敬一

班長　徳永　昌明　土田　功　坂井　賢四郎